# [ Ⅲ. 供給計画の主な概要]

#### 1. 電力需要の見通し

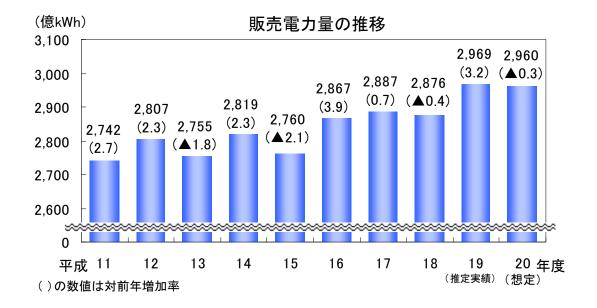
- a) 販売電力量
  - ・ 平成 18~29 年度までの年平均増加率は、1.0% (気温うるう補正後)
  - · 平成 20 年度は、前年度比 0.3%減

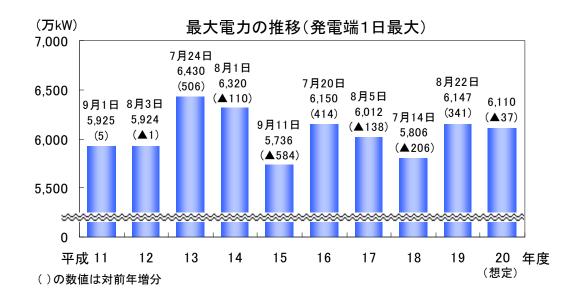
#### b) 最大電力

- 平成18~29年度までの年平均増加率は、0.8%(気温補正後)
- 平成20年度は、6,110万kW(発電端1日最大)

販売電力量・最大電力の見通し

	年度	平成18 実 績	19 推定実績	20	29	年平均増加率	前回計画 平成	₹28
項		(2006)	(2007)	(2008)	(2017)	18~29	<u>(20</u> 今回	16) 前回
	販売電力量 (億kWh)	2,876	2,969	2,960	3,223	_	3,190	3,198
	対前年増加率	▲ 0.4	3.2	▲ 0.3	_	1.0	前回差	▲8億kWh
	(%)	(1.5)	(1.5)	(0.9)		(1.0)	前回比	99.7%
最	送電端最大3日平均 (万kW)	5,527	5,896	5,847	6,236	_	6,179	6,393
大	対前年増加率	▲ 3.8	6.7	▲ 0.8		1.1	前回差	▲214万kW
電	(%)	(▲ 0.7)	(0.2)	(1.7)		(0.8)	前回比	96.7%
カ	発電端1日最大 (万kW)	5,806	6,147	6,110	_	_		





#### 2. 電源設備計画

安定供給、エネルギーセキュリティの確保を基本に、経済性、運用性および 環境への適合などを総合的に勘案し、原子力を中心とした電源のベストミック スを着実に推進してまいります。

主要な	雷源	開発記	十画
<u> </u>	电师	ハリノしロ	1 1=1

	地点名	出力(万kW)	運転開始年月
店でも	福島第一7、8号	各138	26/10、27/10
原子力 	東通1、2号	各138.5	27/12、30年度以降
<b>工</b> 些业士	常陸那珂2号	100	25年度
│ 石炭火力 │	広野6号	60	25年度
	富津4号系列	152	20/7、21/12、22/7
LNG火力	川崎1号系列	150	19/6, 20/7, 21/2
	川崎2号系列	150	25年度(1軸)、30年度以降
+= -1, -+; -1, -+	<b>葛野川</b>	160	11/12、12/6 30年度以降
揚水式水力   	神流川	282	17/12、24/7 30年度以降

電源の広域開発計画

	地点名	開発会社	出力(万kW)	運転開始年月
石炭火力	磯子新2号	電源開発㈱	60	21/7
原子力	大間	電源開発㈱	138.3	24/3

## 年度末電源設備量の推移

## 発電電力量の推移

